



No.3

民間リワーク施設で 金融出前講座を行 ました

人で悩まず相談すること、消費者ホットライン（188・イヤヤ！）などについて説明しました。

受講された方からは、「家計管理について今一度見直そうと思った」、「お金に関するトラブルや注意点を聞くことができてよかったです」などの感想が寄せられました。

財務部では関係機関と連携し金融リテラシーの向上に向けて取組んでいます。学校、職域などご希望があれば左記にご連絡ください。



令和4年4月から成年年齢が引下げられており、18歳から、親の同意なくクレジットカードを作るなど金融に関するさまざまな契約が行えるようになっています。このため、ますます金融経済教育の重要性が高まっており、金融リテラシーを身に付けトラブルに遭わないようになりますが大事です。

金融庁のホームページでは、金融リテラシーを高めるための家計管理や生活設計の必要性など最低限知つておくべきことなどを簡潔にまとめた資料が掲載されています。また、若年者が返済能力を超えた借入れを行い、過大な債務を負うことがないよう、「うんこドリル」のキャラクターを使った15秒程で見ることができる簡単な注意喚起動画（8本）をYouTubeで確認できますので、ぜひご覧ください。

※資料等 URL

<https://www.fsa.go.jp/teach/chuukousei.html>



No.4

金融経済教育推進のため、 各種コンテンツを公開 しています

この他6本の動画も含め
ぜひご覧ください！

検索 Q : 新成人への過剰借入・ヤミ金利用に関する注意喚起 - YouTube



新成人向けうんこクイズ～SNSで知り合った人からの借金は超危険～

金融庁チャンネル・1万回視聴・1年前



新成人向けうんこクイズ～安易な借入にご注意！～

金融庁チャンネル・8327回視聴・1年前

一人ひとりが自らのニーズやライフプランに合った金融サービスを適切に選択するためには、金融リテラシー（知識・判断力）向上の取組が必要です。

財務部では地域の幅広い世代に向けて、金融に関する講座を実施していますが、今回、民間リワーク施設（リワーク＆カウンセリングステーション・ココロおき楽）では、復職・求職等に向けたサポートを行っていますが、現在の生活や将来への経済的な不安を持っている方が多いとのことから、今回、「家計管理」、「クレジットカード」、「金融トラブル」について説明しました。

「家計管理」では給与明細から手取り収入を把握すること、ひとり暮らしにかかる費用、「クレジットカード」では、リボ払いなどの注意点、また「金融トラブル」では、SNSを通じたトラブル、そして一